

令和6年度 福島市在宅医療・介護連携支援センター 事業計画

		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
① (ア)地域の医療・介護資源の把握	包括、病院 MSW へ訪問	包括訪問			MSW 訪問											
	専門職・市民へ啓発	情報収集、ホームページを中心に案内・提供														
(イ)課題抽出と対応検討	各会議等で意見交換	活動と課題				運協会議				運協会議						
	オレンジプランワーキング		会議		会議				会議				会議			
(ウ)切れ目ない在宅医療	4つの場面を作成	日常の療養支援		入退院支援			急変時の対応		看取り							
	MSWと地域医療会議			MSW、CWと意見交換			MSW、CMと意見交換									
② (オ)相談受付	相談受付・記入・集計	随時	→													
	関係機関への課題と対応策の検討及び提案	随時	→													
(キ)市民啓発	市民向け講演会				企画					依頼者準備		打合せ	3/13 講演会			
	市民向けミニ講座	随時、出前講座			→											
	看病講座の支援	緩和ケア医 橋本先生と相談 →														
(工)情報共有の支援	退院調整ルール評価	モニタリングアンケート調査依頼						集計			評価研修準備、研修					
	ICT 説明・活用研修会	ICT 相談受付		出前講		活用・実践事例研修										
	在宅支援確認シート作成	<ul style="list-style-type: none"> 在宅診療報酬算定チェックリスト作成 一人暮らし支援チェックシート作成 (身寄りのない方) 														
(カ)研修企画	研修会企画・開催	(認知症等)			①支援困難事例検討会				②認知症スクリーニング				③認知症対応力カステップアップ			
		(在宅医療・終末期)			①施設看取りアンケート報告、研修会				②終末期支援研修 (ACP、看取り事例)							
	多職種研修と開催協力	随時	→			9/1 ふくふくオレンジフェスタ オレンジライトアップ周知										
③ 対策の評価・改善	①診療所数 (ストラクチャー評価) ②退院調整ルール連絡漏れ率 (プロセス評価) ③在宅医療の訪問患者数 (プロセス評価) ④自宅看取り数 (プロセス評価) ⑤自宅死亡率 (アウトカム評価) ⑥在宅療養希望率 (アウトカム評価)			(評価指標根拠)			①③④県北在宅緩和ケア社会資源情報 ②県北地域退院調整ルールアンケート ⑤厚生労働省「在宅医療にかかる地域別データ」 ⑥福島市介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 厚生局 自宅看取り数、在宅療養支援診療所データ取寄						改善に向けた事業計画			

令和6年度 10月～3月 福島市在宅医療・介護連携支援センター 活動報告

(ア) 医療・介護資源の把握

令和6年度計画 (Plan)	活動内容 (10月～3月) (Do)	評価(Check)/改善(Action)
<p>①ホームページ作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報収集(医療・福祉)と提供 ・各団体の研修案内ページの作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページによる周知、随時情報の更新 ・事業所検索にもの忘れ相談医を追加掲載 ・各包括、医療機関等の活用できる情報を随時追加掲載 ・出席できない方へ研修会報告の掲載 (写真、アンケート結果) ・ホームページ閲覧数 月平均3,818件 (1日平均127件) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ホームページが活用されている。 ・連絡先を確認するツールとして認知されてきた ・各事業所からの情報提供を掲載 ・歯科医師会と掲載の調整
<p>②専門職・関係者、市民への周知</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・資源の把握のため病院連携訪問20か所 (11～2月実施、把握した現状のまとめは【資料】参照) 6、7月実施の全地域包括支援センター訪問結果をMSWに情報提供 ・県北地域在宅緩和ケア社会資源情報誌作成協力 ・もの忘れ相談医の把握 (随時更新) 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報提供、連絡を取りながら状態把握を工夫していることを確認 ・当センターHPの活用を提案し情報掲載を実施

(イ) 課題抽出と対応検討

令和6年度計画 (Plan)	活動内容 (10月～3月) (Do)	評価(Check)/改善(Action)
①運営協議会・意見交換	<ul style="list-style-type: none"> ・在タッチ運営協議会 (2/26) 令和6年度上半期事業報告、福島市の在宅医療についての意見交換 	<p>運協委員から在タッチの業務及び、福島市の在宅医療についての現状について積極的に意見を聞く貴重な機会となった このような場を継続していく</p>
②地域会議への参加 (事業活動について報告)	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月、包括ケア推進室、市保健所地域医療政策室と定例会 (10/23、11/25、12/23、1/27、2/25、3/24) ・福島市地域包括支援センター運営協議会 (2/20) 	<ul style="list-style-type: none"> ・定例会では、地域の課題を報告と検討 ・各会議に参加し、共通している地域の取組や情報、課題等について協力している ・各種事業実施後は実施状況をホームページに掲載
③関係団体会議出席	<ul style="list-style-type: none"> ・医療と介護のネットワーク定例会 (10/17、12/12、2/27) ・ふくふくオレンジフェスタ実行委員会(10/8、2/8、3/27) ・県北退院調整ルール検討会 (11/26、1/22) ・こころの声アンケート検討委員会 (12/16) ・包括支援センター主任ケアマネ部会 (11/26、1/21) ・わたしの人生ノート作成委員会 (11/19) 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケア推進のためにこの団体の活動は重要と捉えており、活動の継続、充実に向けて事務局機能を果たしていく ・集まりお互い顔の見える関係を構築している
	<ul style="list-style-type: none"> ・オレンジプラン推進委員会ワーキング会議 (11/7, 2/6) (もの忘れ相談医対象連携強化研修・包括との連携強化に対する事業実施の協力) ・福島市介護支援専門員連絡協議会役員会 (11/20, 3/19) 	<ul style="list-style-type: none"> ・もの忘れ相談医への連絡など市医師会の協力を得られている ・認知症支援、連携の課題についての情報を確認、把握する実践に向けた準備会議であり積極的に協力

(ウ) 切れ目ない在宅医療

令和6年度計画 (Plan)	活動内容 (10月～3月) (Do)	評価(Check)/改善(Action)
①在宅医療機関の現状と把握	<ul style="list-style-type: none"> ・資源の把握のため病院連携訪問20か所 (11～1月実施 把握した現状のまとめは【資料】参照) ・施設看取りについてのアンケート調査報告書を作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・福島市の在宅医療の需要と供給の現状評価と今後の方向性を明確にする必要がある ・在宅看取りの希望に対応できる医師の養成が求められている ・施設看取り率が低いことに関して、看取りの現状を把握するアンケートを実施し調査報告書を作成した
②アウトリーチ (同行) 支援システムの構築	<p>現在実施している大崎市、松戸市、横須賀市医師会の資料を参考に、方法、手順、依頼文書を準備</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・医師のアウトリーチに対するニーズがある実施できる体制準備について市医師会へ相談。進んでいない現状がある ・計画案を医師会へ提出し協議していく
③MSWとの地域医療会議	<p>10/19 医療ソーシャルワーカーとケアマネジャー交流会 参加者 29名 (MSW7、ケアマネ7名) (保健福祉センター5階)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・MSWとケアマネの連携強化のため合同研修を定期的に継続していく ・福島市ケースワーカーとの研修は未定年一回は開催したい
④医療と介護のネットワーク充実支援	<ul style="list-style-type: none"> ・「福島市医療と介護のネットワーク」事務局として役員会および定例会の運営協力 役員会 (9/9、10/30、1/16、3/6) ワーキング会議 ①災害支援(12/3、1/28) ②ICT(11/14、1/27) 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケアシステム構築のための重要な機関となってきた ・今後、福島市の医療、介護、福祉における具体的な課題を共有し解決に向けた取組を行う

(工) 情報共有の支援

令和6年度計画 (Plan)	活動内容 (10月～3月) (Do)	評価(Check)/改善(Action)
①退院調整ルール評価	<p>・ 1/22「退院調整ルール評価アンケート」運営評価会議の協力(打合せ11/26) (アクティおろしまちコンベンションホール) 福島市分の調査票送付(居宅86箇所、包括22箇所) 回収、集計の協力 回収率を上げるため、締切後に電話で確認 回収：居宅78箇所、包括19箇所 もれ率：予防32.4% 介護12.0% 全体15.9%</p>	<p>【参考】R5 福島市の結果 回収：居宅85箇所、包括21箇所 もれ率：予防22.7% 介護8.0% 全体11.2%</p>
②ICT説明・活用研修会	<p>・ 医療と介護のネットワーク全体会 (12/12) 全体学習会 ICT(MCS)の活用について 分科会 A「MCS基礎編」 分科会 B「MCS実践活用編」 参加者73名 (保健福祉センター4階、5階)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 連携のため一部の医師が活用している 依然ICTの活用は進んでいない ・ 今後、MCSの活用を出前講座形式で準備。利用者への同意書など必要な書類を準備する ・ 診療所医師を中心にICTのチームを作ることを当面の目標にする
③在宅療養支援者確認シート作成	<p>・ 医療機関等へ訪問し、身寄りがない人への具体的支援を確認 一人暮らし高齢者世帯を見据えて、一人暮らしや身寄りがない方へ支援する際に必要な具体的な情報提供をしていく</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実際の支援として包括・MSW、ふくしえるから情報収集できた ・ 作成にむけた準備(情報収集)を進める ・ ケースを想定しフローチャートの作成、ワーキンググループの設置も検討していく

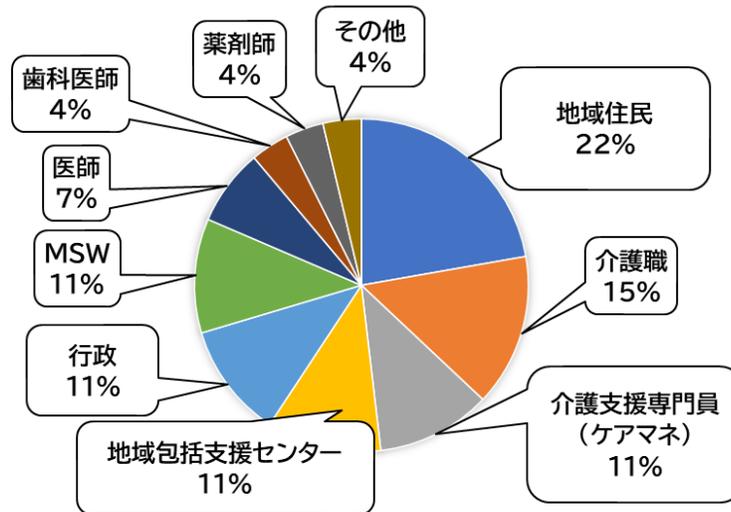
(才) 相談受付

令和6年度計画 (Plan)	活動内容 (10月～3月) (Do)	評価(Check)/改善(Action)
①相談受付・記入	<ul style="list-style-type: none"> ・相談件数26人 (月平均4.3人) ・時間外や土日祝も電話を受けられる体制を継続 	<p>【相談方法】「電話」92%「来所」8%「メール」0%</p> <p>【相談者】計26人 内訳：住民6人、介護職4人、ケアマネ3人、包括3人、行政3人、MSW3人、医師2名、歯科医師1名、その他1人</p>
②相談内容の整理	<ul style="list-style-type: none"> ・相談分類 延べ26件 (1件の相談でも複数の相談項目有) ・対応 延べ42件 (対応項目も複数有) ・相談内容、対応の内訳は グラフ 参照 	<p>【相談内容】</p> <p>「医療・介護の制度、サービスの情報提供」が最も多く、次いで「在宅医療」についての相談が多い</p> <p>①医療・介護制度に関する理解不足に起因した相談が多く、特に「介護認定の有効性・時期」「訪問看護・診療の導入」など制度の狭間に関する問い合わせが目立った</p> <p>②在宅看取りや精神科の訪問支援のニーズが高く、地域資源の偏在や情報共有不足が課題</p> <p>③MSW対応に関して、複数の相談事例で課題が見られた。</p> <p>④MCSなどICTツールの関心も高く、連携促進に資する情報提供が引き続き求められる</p> <p>【対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談窓口の情報提供、紹介が最も多い。何らかの具体的な方法を紹介、上手く行かないときは再度連絡もらうことにしている ・相談内容を定例会、所内会議にて対応を確認してアドバイスを受けている
③関係機関へ課題と対応策の提案	<p>定例会および運営協議会にて報告 相談実績から課題の検討</p>	<p>【実績からの検討課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・困難事例の相談に対応できるよう相談スキルを高めていくことが必要である ・在宅医療や受診に関する相談に対しては、医師との顔の見える関係づくりやアドバイスが得られる仕組みの検討が必要

相談の状況

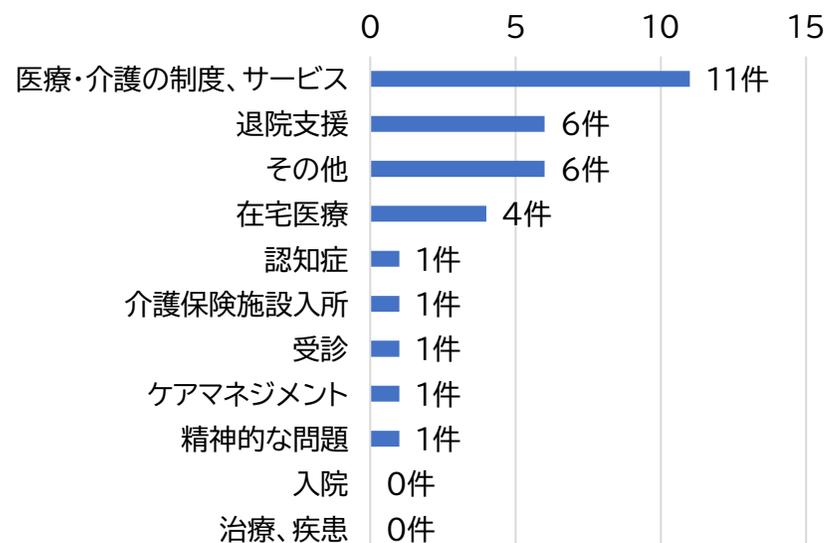
令和6年度下半期(10月～3月)相談件数27件

相談者種別の内訳(27件)

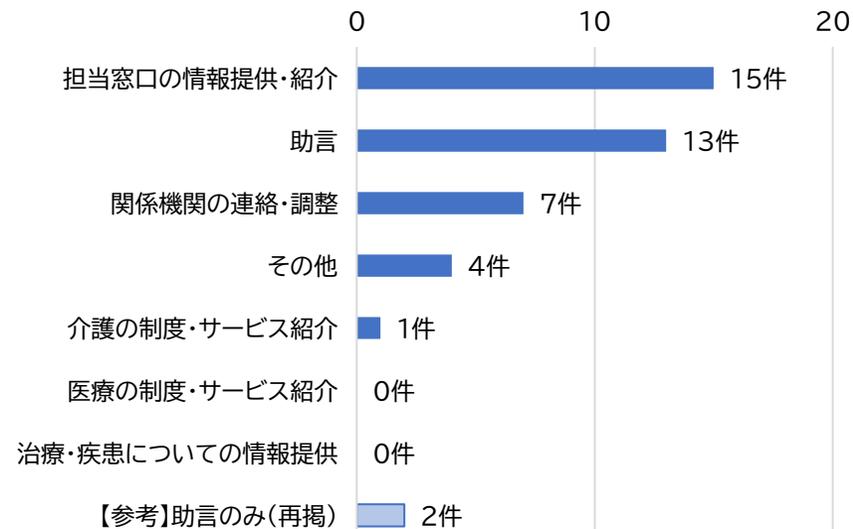


相談内容の内訳(述べ32件)

(件)



対応の内訳(述べ42件)



(カ) 研修企画

令和6年度計画 (Plan)	活動内容 (10月～3月) (Do)	評価(Check)/改善(Action)
①研修会企画・開催	<p>【医療・福祉セミナー研修】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 11/28「在宅で過ごすための食支援～管理栄養士の在宅訪問の実際～」 すかわ診療所 管理栄養士 百田理加 氏 参加者18名 WEB視聴回数66回 (保健福祉センター5階) <p>【認知症対応支援研修】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「認知症スクリーニング研修」収録 2/6～WEBライブラリ配信 あずま通りクリニック院長 小林直人 先生 ・ 3/18 認知症対応カステップアップ研修 「身寄りがない認知症のある高齢者への支援を振り返る」 エルタ居宅ケアマネ 川原 氏、アドバイザー社会福祉士 谷川 氏 参加者19名 WEB視聴71回線 (保健福祉センター5階) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ タイムリーな連携支援などの情報提供を兼ねた研修会を行っていく。 ・ 研修アンケートから集合研修が実施できるようになっても、Web配信研修のニーズはあるため継続していく ・ 研修申込みはGoogleフォームを活用し、業務負担軽減、ペーパーレスとなっている ・ 在タッチ独自開催から、医療と介護のネットワークでの研修開催に力を入れていく
②多職種連携研修会 他団体の研修会協力・ 案内協力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 緩和ケアカンファレンス (11/12、1/14、3/11) ・ 認知症虐待アンケート報告会 (10/3) ・ もの忘れ相談医と包括支援センター連携研修 (10/25、3/7) ・ もの忘れ相談医「インタビュー動画」収録 (12/4、1/29) ・ 市民健康講座 あづま脳神経外科病院 (3/8) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 在宅療養支援に必要な研修を支援していく ・ 今後もイベントや研修開催等の支援をしていく
③主任介護支援専門員 フォローアップ研修	<ul style="list-style-type: none"> ・ 11/22「スウェーデン高齢者の地域包括ケア」 福島訪問歯科 井上義郎 先生 参加者 53名 (保健福祉センター5階) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 初めて主任ケアマネ向けに研修会を開催。福祉先進国の高齢者自身と支援の考え方を聞くことができた ・ 文化の違いはあるが、自分らしく生きるための共通点をどのように活かしていけるかが課題である

(キ) 市民啓発

令和6年度計画 (Plan)	活動内容 (10月～3月) (Do)	評価(Check)/改善(Action)
<p>①市民向けミニ講座</p> <p>(1) 在宅医療について</p> <p>(2) 私の人生ノート書き方</p> <p>(3) もしバナゲーム</p>	<p>(1) 10/25 カフェことこと (11名)</p> <p>12/11 わくわく健康教室 (21名)</p> <p>(2) 10/9 済生会福島意思決定支援チーム (9名)</p> <p>10/23 西地区老人クラブ連合会 (17名)</p> <p>11/11 アオウゼ市民講座 (46名)</p> <p>3/5 老人クラブ松風会 (16名)</p> <p>3/8 あづま脳神経外科病院市民講座 (59名)</p> <p>3/28 カフェことこと (14名)</p> <p>(3) 12/3 ふくこぶし吾妻 (13名)</p> <p>2/20 あづまろう会 (包括、福祉職勉強会) (13名)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年、出前講座の依頼が増えている ・市民向けに周知し共催できる包括や事業所を増やしていく ・ACPやエンドオブライフケアについて、考えるきっかけづくりとなっている ・開催前後にアンケートを取り、より理解が深まる講座を提供している ・依頼が来ていないサークルやサロンへ行くように検討が必要
<p>②包括との合同</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・私の人生ノート書き方 12/11 飯坂北 2/13清水西包括へレクチャー (4名) 	<ul style="list-style-type: none"> ・包括と関わりのある団体むけに合同実施 ・包括でも開催できるよう包括へのレクチャー、資料の提供等協力していく
<p>③市民公開講座開催</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・3/13「最期まで自分らしく生きる～延命治療する、しない～」 済生会福島総合病院 医師 星野先生、仲野先生、MSW石井氏 参加者215名 (一般159名、専門職40名、スタッフ16名) (福島テルサFTホール) 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の人へ知ってほしい延命治療について、医師の考えや、患者さんへ説明している具体的な情報提供を行う事ができた ・聴覚障害者からの参加希望により、手話通訳士を市障がい福祉課に依頼

関係市町村連携

令和6年度計画（Plan）	活動内容（10月～3月）（Do）	評価(Check)/改善(Action)
<p>近隣市町村や県内で開設している在宅医療・介護連携支援センターと情報共有や情報交換</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・伊達サポへ「もしバナゲーム」レクチャー（12/24） ・県在宅医療・介護連携支援センター連絡会（2/19） （郡山ビューホテル） ・県北地域包括ケア研修会（2/21）（県北福祉事務所） ・県がん拠点病院相談支援部会（2/26） 	<ul style="list-style-type: none"> ・県内センター同士で情報交換をMCSで行っている ・在宅医療・介護連携推進事業の関係市町村連携について協力していく

その他の取組

令和6年度計画（Plan）	活動内容（10月～3月）（Do）	評価(Check)/改善(Action)
①AYA世代のがん医療情報と支援取組	福島市若年がん患者在宅療養支援事業 周知協力	<ul style="list-style-type: none"> ・福島市保健所地域医療政策室との情報交換を継続 ・がん拠点病院相談支援のメンバーと情報を共有
②障がい者支援	共生社会推進課へどのような相談があるか情報をお聞きした今後、専門職にむけて研修を準備していく	<ul style="list-style-type: none"> ・地域支援では、介護保険だけでなく、障がい福祉や難病支援等との連携も必要である ・今後も、センター事業に活かせるような情報交換を継続していく
③医療・福祉職人材育成	県介護支援専門員法定研修講師依頼への対応（法定研修 専門Ⅰ、専門Ⅱ、主任、主任更新、実務の講師）	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療を支える人材の育成は必要 ・講師依頼があれば、協力していく
④学会、研修等参加	<ul style="list-style-type: none"> ・県市町村 在宅医療介護連携推進事業研修会 (①10/21、②11/15、③12/2) ・先進地域視察：いなぎ市在宅医療・介護連携支援センター (12/20) 	<ul style="list-style-type: none"> ・松戸市：地域を一つのバーチャル病院ととらえ、医師が地域ケア会議に出席、アウトリーチするなどの地域サポート医、二人主治医制、在宅医療のスタートアップや質向上を柱に活動。 ・在宅医療学会に発表する準備を行い、学会参加および研修に参加したい

福島市在宅医療推進に関する指標

	指標となる項目	令和6年度把握データ	評価の基準 (在タッチ設置前データ)
1	退院調整ルール 連絡もれ率	令和6年度 包括 32.4% 居宅 12.0% 計15.9% (県北退院調整ルール評価アンケート令和6年 6月、7月)	平成30年度 包括18.2% 居宅10.9% 計12.3%
2	自宅死亡率	20.2% 厚生労働省「在宅医療にかかる地域別データ 集 令和5年度」 (令和5年1月～12月)	19.1% 厚生労働省「在宅医療にかかる地域別データ 集 平成29年」 (更新日：令和元年6月19日)
3	在宅医療の訪問患者数 (訪問実施実人数)	2,144人 令和7年1月改訂県北地域在宅緩和ケア社会資源情報 (令和6年調査・回答医療機関数 27か所)	2,961人 平成31年1月改訂県北地域在宅緩和ケア社会資源情報 (平成30年調査・回答医療機関数 31か所)
4	自宅看取り数・診療所数	391名・ 21か所 令和7年1月改訂県北地域在宅緩和ケア社会資源情報 (令6年調査・回答医療機関数 27か所)	422名・ 23か所 平成31年1月改訂県北地域在宅緩和ケア社会資源情報 (平成30年調査・回答医療機関数 31か所)
5	自宅療養希望率	38.1% (できるだけ自宅で療養し必要なら病院 30.6%、自宅で最期まで療養7.5%) 37.0% (自宅で死を迎えたい) 令和4年度、介護予防・日常生活圏域二一ズ調査予定	40.4% (できるだけ自宅で療養し必要なら病院 32.2%、自宅で最期まで療養8.2%) 32.7% (自宅で死を迎えたい) 令和元年度、介護予防・日常生活圏域二一ズ調査

※ 3,4 に関してはアンケート調査形式のため、確認作業もしくは東北厚生局へ情報を請求するなど、今後において参考となる指標にするための検討が必要

【参考】

令和6年度 相談の状況

(相談件数 53 件)

